

手術部位感染(SSI)サーベイランス対象手術件数と発生率

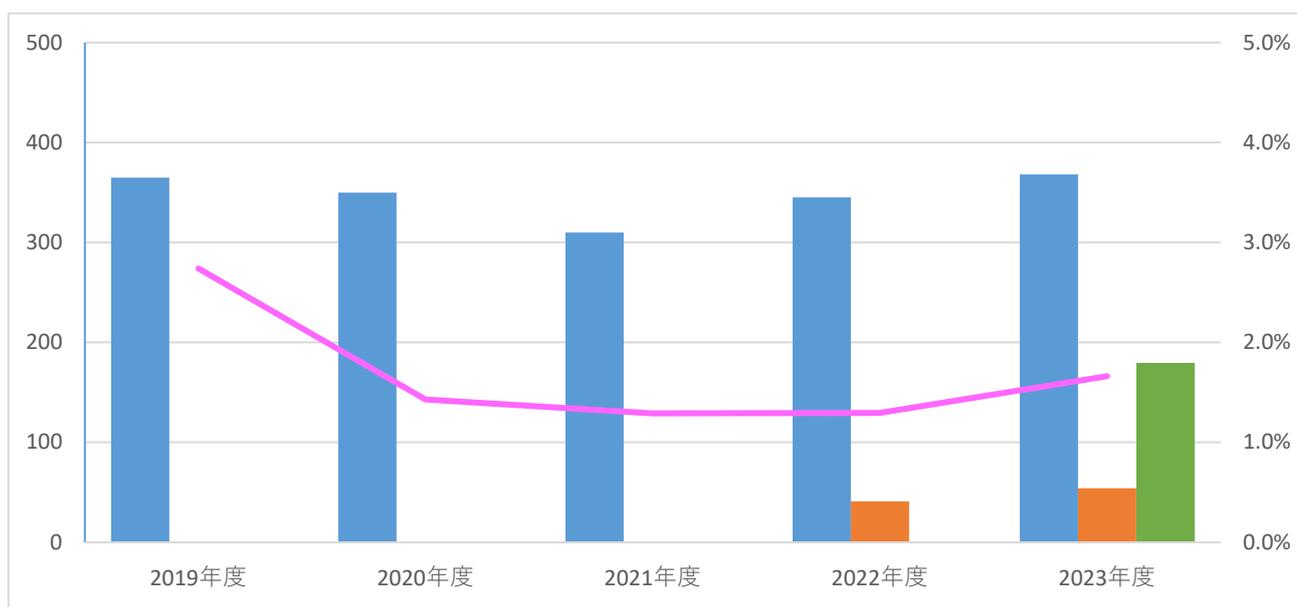
項目の解説

SSI（手術部位感染）とは、手術操作を直接加えた部位に発生する術後感染のことです。SSIが発生すると在院日数の延長、医療費の増大といった患者さんの苦痛につながるため、SSI発症率を低下させることは非常に重要な課題です。

SSIサーベイランスとはSSIの実態を調査して、疫学的原則に基づいて収集・分析・解釈し、ICT（感染対策チーム）に報告して情報を共有することと定義されます。PDCA（Plan、Do、Check、Action）サイクルといって、得られた情報をもとにSSI防止対策を立案・実施し、更にサーベイランスにより評価することを繰り返しSSIの低減をはかっています。

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
心臓血管外科SSI監視対象症例数（発生数）	365 (10)	350 (5)	310 (4)	345 (5)	368 (1)
整形外科SSI監視対象症例数（発生数）	-	-	-	41 (0)	54 (0)
産科婦人科SSI監視対象症例数（発生数）	-	-	-	-	179 (9)
SSI発生率	2.7%	1.4%	1.3%	1.3%	1.7%



定義

本院でSSIサーベイランスを実施している各診療科のSSI監視対象症例数（SSI発生数）とSSI発生率です。

SSI発生率は低いほど良い。